

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	The 3rd International Conference of Mycotoxicology and Food Security (ICM2019)
演題名	Aflatoxin production inhibitors-two decades from aflastatin A
発表者	○ <u>Shohei Sakuda</u> (帝京大・理工・バイオ) 【生理活性利用学研究室】
内容	タイ・バンコクで開催されたThe 3rd International Conference of Mycotoxicology and Food Security (ICM2019) ( <a href="http://thaimycotoxin.org/ICM2019/">http://thaimycotoxin.org/ICM2019/</a> ) にて、本学理工学研究科の作田庄平研究科長が基調講演者として招待され講演を行いました。アフラトキシンはピーナッツ等に感染するカビが作る強力な毒性物質です。作田教授はアフラトキシン生産を抑制する物質について20年以上研究を続けており、これまでに天然から発見した様々な物質の化学構造、活性、作用メカニズムについて包括的な発表を行いました。
関連画像	